

2026年5月24日
株式会社ホンダカーズ東海

東浦町立生路小学校にて、 EV（電気自動車）を活用したSDGs特別授業を実施いたしました

株式会社ホンダカーズ東海（本社：愛知県名古屋市、社長：高橋一穂）は、2026年5月20日、東浦町との包括連携協定に基づき、東浦町立生路小学校にて実施された5年生の総合的な学習の時間の授業において、EV（電気自動車）を活用したSDGs特別授業の講師を務めました。

なお、本取り組みの様子は、2026年5月21日付の中日新聞（朝刊・知多版）に掲載されました。詳細は2ページ目をご覧ください。

記

- | | |
|--------|--|
| 1. 日 時 | 2026年5月20日 5限 13:30～14:15 |
| 2. 場 所 | 東浦町立生路小学校（愛知県知多郡東浦町生路傍示松15） |
| 3. 対 象 | 5年生（58名） |
| 4. 主 催 | 東浦町 |
| 5. 内 容 | 東浦町主催のSDGs出前講座「今日からあなたもSDGsマスター！」の一環として行われた今回の授業では、前半にSDGsや地球環境に関する座学を実施。後半には児童たちが実際のEVに触れながら、災害時を想定した給電実演を行いました。車両から取り出した電気で明かりを灯したりサーキュレーターを動かしたりと、EVが「走る蓄電池」として役立つ様子を体感できる体験型の授業となりました。 |



※掲載写真は東浦町より提供

メディア掲載実績のご報告

本取り組み（東浦町立生路小学校でのSDGs特別授業）について、下記の通り新聞メディアにてご紹介いただきました。

【掲載概要】

媒体名： 中日新聞

掲載日： 2026年5月21日（木）付 朝刊16面、知多版16頁

見出し： 「EV 災害時は明かりに 東浦・生路小5年生、活用法学ぶ」

学校の駐車場には、ホンダのEV2台が登場。児童たちは、外部給電器を通して照明器具やヒーターに給電する様子を見学した。長坂希嬬さん(10)は「EVを

町と包括連携協定を結ぶホンダカーズ東海（名古屋）が講師を務めた。水口さんは、車を走らせるエネルギーなどさまざまな種類があると紹介。中でもEVは、走行中に二酸化炭素(CO₂)を排出しないため環境に優しく、災害時は非常用電源として活用できると説明した。

災害時などに役立つ電気自動車(EV)について学ぶ授業が20日、東浦町生路小学校で5年生向けにあった。

EV 災害時は明かりに 東浦・生路小5年生、活用法学ぶ



実際に見たのは初めて。家電などに使えてすごいと思った」と話した。(望月海希)

電気自動車について学ぶ児童ら＝東浦町生路小で

<本リリースに関連する取り組みが貢献するSDGs>

4 質の高い教育をみんなに



< 本リリースに関するお問い合わせ先 >

株式会社ホンダカーズ東海 経営企画室 水口 TEL 052-837-3004